

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いやし屋本舗作成日: 平成 23 年 09 月 11 日**目標達成計画書**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	併設事業所と避難訓練を実施し、職員同士の協力体制も出来ているが、9月より毎月避難訓練を実施し、地域の協力体制を築いていく。	運営推進会議を通して、地域住民の協力をお願いし、避難訓練に参加してもらい、電気、ガス、水道等が使用出来ない場合の非常食、飲料水等の備蓄の準備をしていく。	12ヶ月
2		職員の意識の高揚と、技術力の均一化	決められた職員の人数で、重度化していく利用者を、きめ細かく支援していくために、職員のやる気と、職員一人ひとりの質を高めなければならないので、チームワークや連携体制を強化していく。	職員の外部、内部の研修に、経験年数、習熟度、やる気等を考慮し、参加し、職員全員のレベルを均一に上げていくことを、目標にしていく。また、職員の悩み等を聴く機会を設け、職員間で歓談出来る場を設けていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。